

令和8年度
(2026年度)



川島小学校だより

輝く かわしまっ子

7 月

7日 第26号

文責:小西 貴仁

災害時の食事の大切さについて学びました! (5年生)

最近、青森県や山梨県で震度6強の大地震が起こったり、世界的に見ても中南米のベネズエラでの大地震が起こったりしています。さらに、大地震だけでなく台風による洪水など異常気象と言われるくらい自然災害が身近で多発しています。子どもたちは、危機意識を高めています。

このような状況の下、7月3日(金)、6時間目に5年生が総合的な学習の時間「減災をみんなに広め隊」の単元で、避難生活時の食事の大切さについての学習を行いました。この学習は、吉野川市の小学校の食育部会の先生方にも参観していただきました。

これまで、5年生は、総合的な学習の時間に防災・減災についての学習を行ってきました。また、地震による避難訓練を行うことで、「自分の命を自分で守るには、どうしたらよいのか」についても体験的に学んでいます。

今回の学習では、次のようなめあてをもって学習しました。

「災害時の食事について知り、栄養バランスのことも考えた備蓄食品リストを考えることができ、自分にできることを見つけて行動しようとしている。」

学習内容としては、次の2点について学びました。

- ①災害時に必要な備蓄食品の役割や量を知り、備蓄食品にも栄養バランスが大切なことを理解することができる。(食事の重要性)
- ②家族のことを考えて、我が家の備蓄食品リストを作ることができる。(食品を選択する力)

子どもたちは、今回、「避難生活でのバランスのとれた食事の大切さ」について学びました。今後、それぞれの家庭で備蓄食品を備える際に生かしていきたいと考えています。さらに、「減災をみんなに広め隊」として、「5年生の学年だより」や「川島小学校ホームページ」を活用し、保護者や地域の方々への発信も行う予定です。

